

令和4年/2022 No.38 野口遵顕彰会	野口 遵 顕彰会だより	
------------------------------	----------------	---

ご あ い さ つ

野口遵顕彰会

会長 吉 玉 典 生

新年明けましておめでとうございます。良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

野口遵顕彰会は昨年1月創立20周年を迎えることができました。20年間、ご支援、ご協力をいただきました皆様方に心からお礼と感謝を申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、計画していました『ジュニア科学者の翼』は中止せざるを得ず、2年連続の中止は中学生の皆さんをはじめ関係者の皆様方の期待に添えず申し訳なく思っています。

創立以来実施しています『野口賞』授与事業は、これまで「奨励賞」を受賞した研究開発テーマを、その後さらに改良、工夫しての再応募が今回初めてありました。その改良、工夫内容が「選考委員会」にて高く評価されて、新たに制定しました『野口賞（特別賞）』を授与しました。

また、昨年から新たに九州保健福祉大学と連携して実施していますジュニア科学スクールは「身近な微生物を用いた体験学習とがん細胞観察」を実施しました。参加した中学生の皆さんから「貴重な体験をすることができました」と大変好評です。この事業はこれからも九州保健福祉大学と連携して実施してまいります。

なお、計画しました昨年のそれぞれの事業の具体的な実施状況は別紙のとおりです。

野口遵顕彰会は、これからも一層活動の充実に努めてまいります。今後とも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年1月

副読本マンガ版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》



野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市発展の功績を小学生の皆さんに知ってもらうために、分かりやすく親しみやすいようにマンガ風に再編集した副読本「のべおか新興の母 野口遵」（B5版）を、延岡市内の小学校28校の4年生全員に配付しました。（計1,200冊）

これは、延岡市教育委員会が小学校3・4年生に配布している副読本「わたしたちの郷土延岡市」の中に、“延岡にかかわる偉人”のひとりとして野口遵翁が取り上げられています。小学生の皆さんが学習する際に、野口遵翁をより理解するのに役立ててもらえればとの思いで配付しているものです。

各小学校では朝の読書の時間や総合学習の時間などに活用しています。なお、今回で7回目の配付となりましたが、来年も続けて4年生全員に配付します。

青少年科学技術派遣研修事業

《第20回『ジュニア科学者の翼』》

“青少年に科学への夢と希望を育む事業”として毎年夏休みに実施し、これまでに221名の中学生の皆さんを関東地区にあります科学館や野口研究所に派遣して研修しています。

日本でも一昨年から新型コロナウイルス感染が拡大し、いまだに収束の見込みが立たない状況が続いています。

そのため派遣する中学生の感染防止を最優先に判断し、昨年引き続き残念ですが実施を見送ることにしました。

新型コロナウイルス感染拡大が早期に収束し、再び実施できるよう強く願っています。



第6回「野口遵翁生誕祭」

《 — 延岡市と共催して開催 — 》

延岡市の文化の拠点として市民に親しまれてきた野口記念館の命名の由来となった旭化成の創業者野口遵翁の功績を讃えて、生誕の日である7月26日に延岡市と野口遵顕彰会が共催して開催しています。

今年も、新野口遵記念館が建設工事中のため昨年に引き続いて旭化成向陽倶楽部にて開催しました。今回も、新型コロナウイルス感染防止のため昨年同様内容を縮小して、関係者を中心に実施しました。

「生誕祭」当日は雨天の中30名の皆さんの出席のもと、「野口遵翁への祝いの献花」、主催者あいさつ、来賓あいさつの後、工事が着々と進められています新野口遵記念館の概要と工事の進捗状況について、延岡市「野口遵記念館建設室」の担当者から詳しく説明を聞きました。終わりに、出席者全員が野口遵翁の遺影に献花しその功績を偲び感謝しました。



第21回『野口賞』授与事業



宮崎県内を拠点として独自の事業拡大、研究開発、技術開発を行い、顕著な業績を上げた企業や個人などを募集・選考して賞状と賞金を授与しています。今回は2件の応募がありました。

「選考委員会」にて慎重かつ厳正な審査の結果、(株)興電舎より応募のありました研究開発テーマが、新たに制定された『野口賞(特別賞)』に決定しました。

今回、(株)興電舎が受賞しました研究開発テーマは、第11回(平成23年)に応募して「奨励賞」(賞金50万円)を受賞しています。その後、改良、工夫を行って今回再応募があり、その改良、工夫の内容が「選考委員会」にて高く評価されました。このように再応募の上受賞するというケースは今回が初めてであることから「選考委員会」にて協議の結果、新たに『野口賞(特別賞)』を制定して表彰することになりました。

なお、この『野口賞(特別賞)』の賞金は、前回(第11回の「奨励賞」(賞金50万円)に、新たに(賞金50万円)を加え合わせて(100万円)になります。

「授賞式」は11月16日(火)エンシティホテル延岡にて執り行い表彰状と賞金を授与しました。また、受賞者から受賞されたテーマについて「講演」をしていただきました。受賞者の皆さまと受賞テーマは下記のとおりです。

なお、この「授賞式」は一般社団法人「宮崎県工業会」県北地区部会の例会を兼ねて共催で実施しました。



〈『野口賞』（特別賞）〉

◇受賞者

(株)興電舎	宮崎支店	営業係	別宮庄蔵様
〃	〃	技術部設計課	亀澤朋将様
〃	大分事業所	〃	山村俊一郎様

◇研究開発の名称

『変圧器励磁突入電流抑制装置の開発・実証試験と商品化』

◇授賞理由

- ①前回（平成23年 第11回）の「奨励賞」は、創造性、技術性が高く評価されたの受賞でした。その後、当該技術はさらに改良、工夫されているものと考えます。しかし、今回の応募内容においては、その当時と比べて創造性、技術性がどう向上したのかの具体的な記述が不十分でした。
- ②社会性、収益性では、その後約10年間の売上が海外での売上も含めて、153台（売上金額は10倍強）という実績を誇り、従業員数も大幅に（約100名）に増員されており、今後のさらなる成長を期待して高く評価します。
- ③過去に「奨励賞」（賞金50万円）を受賞したテーマで再応募しての授賞は野口遵顕彰会として初めてのことであり、今回の授賞は、今回新たに定めた『野口賞（特別賞）』（賞金は前回と合わせて100万円）に決定しました。

『ジュニア科学スクール』

〈 ペットボトルを使って風力発電機をつくる!! 〉

小学校5・6年生を対象に、実験や組立てなどを通して科学技術への関心を高め楽しみながら学習する機会として、『ペットボトルを使って風力発電機をつくる』をテーマに各小学校を訪問して実施しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により実施を見合わせていましたが、ようやくその影響が少なくなってきましたので、新年1月から実施したいと思います。

なお、これまでの実施状況は次のとおりです。



〈実施した学校〉

(平成26年度)	1校	53名	(平成27年度)	4校	257名
(平成28年度)	7校	53名	(平成29年度)	11校	588名
(平成30年度)	7校	386名	(令和1年度)	12校	612名
(令和2年度)	4校	110名			

『キャリア教育』への取組み

新型コロナウイルス感染の拡大が続き、学校の休校や授業の時間短縮などの影響もあり、野口遵顕彰会独自の事業（『頑張る地元企業に学ぶ!!』）は具体的に計画を進めることができませんでした。次年度にあらためて計画したいと思います。

ジュニア科学スクール

『身近な微生物を用いた体験学習とがん細胞観察』

－ 九州保健福祉大学との連携事業 －

小・中学生の科学への関心を啓発する事業として、新たに九州保健福祉大学と連携して、中学生を対象に同大学の施設を活用して体験学習を企画しました。

なお、この体験学習は、九州保健福祉大学が地元にあることから実現できるものです。

(1回目)	10月 9日 (土)	延岡中学校1・2年生	7名参加
(2回目)	11月20日 (土)	岡富中学校1年生	10名参加
(3回目)	1月22日 (土)	恒富中学校	10名参加予定



〈今回の体験学習の概要〉

- ①身近な微生物として納豆と酵母菌を用いて、細菌の運動性、グラム染色による観察、カタラーゼテスト、オキシダーゼテストなどを学習する。
- ②抗菌薬の作用についてディスク法（寒天培地に抗菌薬を含有した濾紙を置いて培養し、抗菌薬による細菌の発育抑制を確認）を用いて実施したものを参加生徒に見てもらう。
- ③がん細胞観察の体験学習、細胞検査士の紹介



体験学習の様子

〈第2回目に参加した岡富中学校1年 松田殊音さんの感想文〉

先日は、私たちのために実験の準備などをしてくださったり、講話をしてくださったりといろいろありがとうございました。私はこの日をとても楽しみにしていました。当日、実際に行ってみると、とても大きな学校でびっくりしました。がん細胞を顕微鏡で見た時は、赤と青のすごい形をしたものがたくさんあって、その中に核という細胞の中にある物体を見た時すごくおどろきました。講話では、がんという病気になっていない私たちにも、体内にがんがあることにびっくりしました。人間の死亡する病気などの割合でがんが多かったので、気をつけようと思いました。

“なっとう”などを使って実験した時は、初めて見る液体などがあって楽しかったです。顕微鏡で見た時は黒い棒状の菌がいておもしろかったです。その菌は殺しているのに動いていたのでまだ生きているのかな？などと思っていました。ですが、講師の先生が「死んでいて動かない」とおっしゃっていたのでびっくりしました。この日は私にとって初めてのことばかりで、すごく楽しかったです。本当にありがとうございました。

“『ジュニア科学者の翼』派遣研修生の集い”および 『ジュニア科学者の翼派遣研修生OB会』結成準備

青少年科学派遣研修生事業『ジュニア科学者の翼』が今年度20回を終了するのを機会に、第16回～第20回の派遣研修生と引率の先生に案内して、研修の成果とその後の進路や考え方にどう生かされているのかを確認する。また、それぞれの回に参加したメンバーが久しぶりに顔を合わせてお互いの友情を深める機会として12月4日（土）に計画しましたが、学校の行事や土曜授業などのために参加者が少なかったため（約10名）、2月末にあらためて計画することにしました。

その時に、合わせて『ジュニア科学者の翼派遣研修生OB会』結成について、参加者の皆さんの意向を確認の上、その後の準備作業を進めたいと考えています。

創立20周年『記念誌』の作成・配付

野口遵顕彰会は本年（2021年）1月、創立20周年を迎えました。この20年間数々の事業に取り組んできましたが、いずれの事業も概ね計画どおりに実施することができました。それぞれの事業の実施内容を「記念誌」としてまとめ、賛助会員、教育委員会、学校関係など、これまでご支援、ご協力をいただきました皆様方に配布しました。（700冊作成、約600冊配布）



ホームページアドレス変更のお知らせ

■このほど、ホームページのアドレスを変更しましたのでお知らせいたします。新しいアドレスは次のとおりです。

事業の実施状況や冊子「のべおか新興の母 野口遵」の全文などを掲載しています。どうぞアクセスしてみてください。

<ホームページアドレス>

<https://ability-gate.heteml.net/noguti-h-a>



ご意見・ご提案について（お願い）

野口顕彰会活動や取組み事業に対するご意見・ご提案をお聞かせください。事業計画や活動に生かしていきたいと思っております。下記事務局までお電話、あるいはFAXにてお気軽にお寄せください。よろしくお願いいたします。

「賛助会員」募集について（お願い）

野口顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご入会とご紹介をよろしくお願いいたします。

賛助会費は、

（法人） 1口 1万円／年間；（個人） 1口 1,000円／年間

※1口以上何口でも結構です。

ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

●連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3-5-1（延岡商工会議所内）

TEL (0982) 33-6666

FAX (0982) 33-6682

